



校長通信

第57号 H31.1.24 (木)

全国的に大流行です。流感が原因で駅プラットフォームから転落、児童が高層マンションから落ちたなどのニュースが報じられていました。ご留意を。

教育目標「いのちを大切に、たくましく生きる児童の育成」

本校にインフルエンザ大流行 こまった！



玄関に消毒液を用意しています

いつも元気なあの子が休んだ！
インフルエンザに??

3学期が始まって早々、3連休明けです。本校にインフルエンザが入ってきました。授業打ち切りや学級閉鎖など、学習活動に少なからず影響を及ぼしました。

現在は、大流行から遠ざかり、ようやく落ち着いて学習できるようになりました。

学校では、3学期はじめから下足箱付近に消毒液を設置しております。児童は、休憩時間後、登下校時に利用し、予防や罹患阻止に努めています。



「おはようございます！」 あいさつ運動



休みの間にあいさつの習慣が少し薄らいだようです。7時40分、児童会の委員会ごとに玄関廊下に並び、大きな声であいさつをおこなっています。

学校では「自分から」あいさつできる児童をめざしています。家庭や地域でもできるように願っています。

子どもの風景を詠む ～子ども賛歌～

子らは凧われらは子らの顔を追ふ春空のごと晴々として

(平成27年に詠む 同年4月30日 北國文芸所収)

子ども達は凧あげが好きです。近くで見ていると、こちらまでうれしくなります。

子ども達が見ているのは空の凧。教師は凧よりも子どもの顔を見ているほうが楽しく感じます。高く揚がったことに満足げな子、落ちそうな凧を懸命に立て直そうとする子、落ちてしまった凧に残念そうな子など様々な表情が見られます。教室の学習と違った解放感を味わっているのでしょうか。

